

会員会社紹介

# 三菱電機株式会社

通信システムエンジニアリングセンター 戦略事業推進グループ  
 牧野 真也



三菱電機株式会社は1921年（大正10年）に三菱造船株式会社の電機製作所を母体として設立され、今年2月1日に創立100周年を迎えました。当社では、これからの100年を見据えて企業理念、経営方針、経営戦略を見直しました。本項では、その一端のご紹介と私自身が標準化に関わる仕事に携わる中で感じることを述べてみたいと思います。

企業理念については、社会における当社の存在意義、そして社員一人ひとりが大切にすべき価値観・姿勢をあらためて定義し、以下の企業理念体系に改めました。  
**【企業理念】** 私たち三菱電機グループは、たゆまぬ技術革新と限りない創造力により活力とゆとりある社会の実現に貢献します。

**【私たちの価値観】** 信頼、品質、技術、倫理・遵法、環境、人、社会

**【コミットメント】** Changes for the Better

経営方針については、これまでの「成長性」、「収益性・効率性」、「健全性」のバランス経営に対し、全ての活動を通じた「サステナビリティ」の実現への貢献を加え、経済的価値と社会的価値を両輪とした企業価値の更なる向上を実現するとしています。

経営戦略については、多様化する社会課題の解決に向け、ライフ、インダストリー、インフラ、モビリティの4つの領域においてグループ内外の力を結集した統合ソリューションを提供します。ここで統合ソリューションとは、当社の強いコアコンポーネント、豊富なフィールドナレッジ、先進的デジタル技術を掛け合わせて、当社ならではのソリューションを提供することです。

以上は、当社が6月3日に発表した「三菱電機の経営戦略」<sup>(注)</sup>の中で詳細が記載されておりますので、

ご参照いただければ幸いです。



三菱電機の経営戦略

(注) <https://www.mitsubishielectric.co.jp/news/2021/0603-a.html>

当社の特長として、電力、社会インフラ、工場（FA）、ビル、家電、自動車といった多くの産業分野で高度な技術と豊富な経験を有していることが挙げられます。デジタルトランスフォーメーション（DX）が進展するこれからは、まさに経営戦略で掲げる統合ソリューションで相乗効果を発揮することが重要となります。我々が標準化活動に関わる情報通信は、それぞれの産業分野を支え、連携させる基盤となることから、標準化活動の内容が各産業分野のユースケース、法制度、エコシステムの形成や他産業分野の標準化機関との整合性、連携を意識したものに変わっていることを強く感じます。このような中、標準化活動の役割はこれまで以上に重要となっており、TTC 専門委員会への参画を通して標準化活動に積極的に参画していきたいと思っております。